

みやわき経済3分レポート(No.106)(2026.7.06)

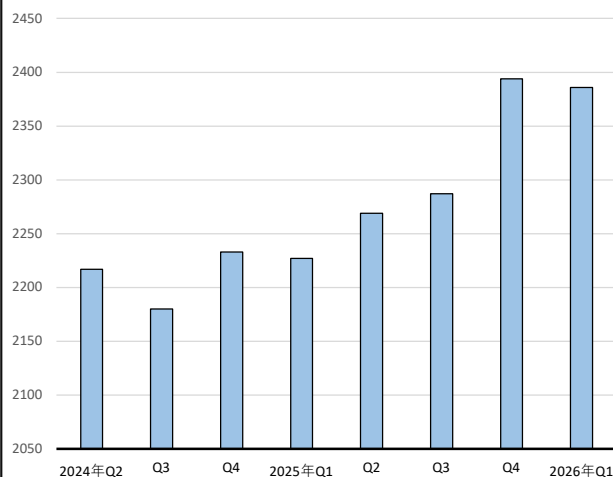
《日本経済:資金循環》

日本政策総研代表取締役社長 宮脇 淳

日本家計金融資産残高ほぼ横ばい(2026.3末現在)

日本銀行「資金循環表」によると、2026年3月末現在の家計金融資産残高は2386兆円となった。2025年12月末に比べて8兆円減であるものの、ほぼ横ばいの状況にある。一人当たり貯蓄額は、約2000万円に達している。資産構成では依然、現金・預金が47.2%を占めているものの、投資信託・株式等の構成比率は、24%程度と増加傾向にある。一方家計部門の負債残高は414兆円であり、家計全体では2000兆円弱の黒字である。

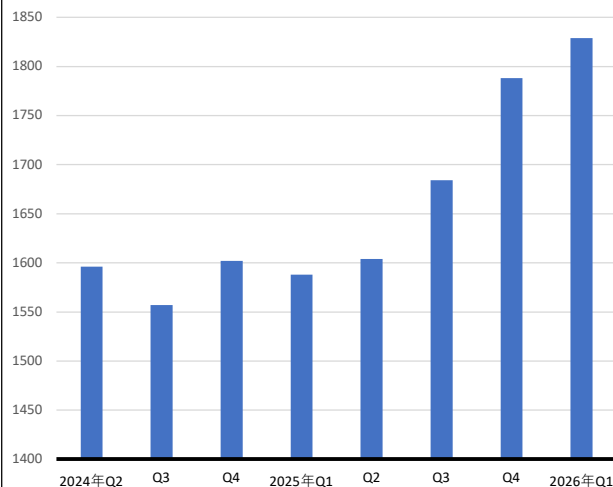
日本家計金融資産残高(兆円)



日本企業金融資産残高1800兆円超え(2026.3末現在)

日本銀行「資金循環表」によると、2026年3月末の企業(非金融事業法人)金融資産残高は1829兆円となった。2025年12月末の同1788兆円から、40兆円強増加している。資産構成の第1は、株式等で全体の37%を占めている。企業による海外への直接投資が26年3月末で300兆円弱に達し、全体の15.6%を占め近年増加傾向にある。なお、企業負債側では借入等による資金調達額が、同2746兆円となっている。

日本企業金融資産残高(兆円)



日本民間金融機関貸出残高増加(2026.6)

日本銀行「資金循環表」によると、民間金融機関貸出残高は、2026年3月末で1193兆円となっている。2025年12月末残高より、40億円程度増加している。貸出先残高で最も多いのは、民間非金融法人で26年3月末で475兆円、全体の約40%を占めている。家計に対する貸出残額は、346兆円で同29%である。なお、一般政府負債の状況は残高が1376兆円で、うち国債等証券による負債が1158兆円と最も多くなっている。

日本民間金融機関貸出残高(兆円)

